



設置されたエアコン

また、中学校はまずは全ての図書室を優先に、改築や改修事業と調整を図った上で普通教室への設置を検討する。

【答】

未設置の小友小は来年度で、新山小と矢島小は改築に合わせ整備の計画だが、児童への観察を強化し、体調管理には万全を期す。

【問】 市内小中学校へのエアコン整備について、文科省は来年3月末には全国で9割設置に達する見込みとしている。未設置の4つの小学校も、災害の二次避難場所たる機能強化、酷暑での熱中症予防や公平で快適な学習環境の提供からも不可欠だ。特に矢島小は長期に及ぶため、エアコンに匹敵する機器の整備を実施するべき。また、中学校設置の計画は。

学校教育に関連して



佐藤 勇  
(市民創風)



現在の矢島小学校

矢島小は小中高一体型の校舎整備を進め、来年度の基本設計、令和3年度の実施設計、完成は令和5年度を目指す。

【答】 北中の大規模改修は現在実施設計であり、令和2、3年度で屋根、外壁の改修、トイレの洋式化、照明のLED化と駐車場の整備を計画している。新山小は今年度の基本設計、来年度の実施設計を経て、令和3、4年度に校舎本体の整備を実施する計画である。

【問】 小中学校の改築について、北中と新山小の改修や、石沢・小友小の統合、矢島小の建設スケジュールは。

【答】 北中の大規模改修は現在実施設計であり、令和2、3年度で屋根、外壁の改修、トイレの洋式化、照明のLED化と駐車場の整備を計画している。新山小は今年度の基本設計、来年度の実施設計を経て、令和3、4年度に校舎本体の整備を実施する計画である。

ここが聞きたい

# 一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。12月定例会では、9人の議員が質問に立ちました。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

6P 今野英元 (社会民主党)

1. 由利本荘市の風力発電事業
2. 公営ガス事業の民営化

7P 佐藤 勇 (市民創風)

1. 学校教育に関連して
2. 下水道・集落排水事業の公営企業化について
3. 新ごみ処理施設整備事業について
4. 既存林道の維持管理について
5. 財政などに関連して
6. ケーブルテレビのBS4K8K対応について
7. カダーレ第2駐車場の開放について
8. 由利高原鉄道へ貸与したバスについて

7P 阿部十全 (無所属)

1. カダーレのネット通信環境充実について
2. 風力発電について
3. 洋上風力発電海外先進地調査事業報告について
4. 洋上風力発電を推進する要因について

8P 正木修一 (無所属)

1. 由利本荘市の農業施策について
2. 災害に対する備えについて
3. 再生可能エネルギーの利用を目的とした施設の建設に関する手続きガイドライン見直しについて
4. イー・アッシュ・アッシュ候補地調査について
5. スクールバスの混乗化とスポ少での活用について

8P 佐々木茂 (市民創風)

1. 市道新道下藤崎台幹線1号(仮称)の整備について
2. 地球温暖化防止と防災について
3. 道路インフラの老朽化対策について
4. 人口減と水道事業について
5. 外国人労働者について

9P 高橋和子 (高志会)

1. 鳥海ダム周辺整備について
2. 共有地に係る固定資産税の持分ごとの税額納付について
3. 平井文庫の保存と活用について

9P 佐々木隆一 (日本共産党)

1. 補聴器助成への検討の具体化は
2. マイナンバーカードの普及実態は
3. 国の病院再編統合から地域医療を守る立場について
4. 診療報酬改定の課題と影響は
5. 介護保険の改定について
6. 後期医療制度について
7. ラジオの難聴地域解消とAM放送停波について
8. 教員の変形労働制について

10P 佐藤健司 (高志会)

1. 自然災害への備えについて
2. にぎわいをつくる取り組みについて
3. 農業振興策について
4. 新たな工業団地造成の計画について
5. 外国人労働者支援の取り組みについて
6. 市道整備について

10P 高橋信雄 (高志会)

1. 防災対策と災害対応について
2. 風力発電の問題点について
3. 農業問題について
4. 鳥海山木のおもちゃ美術館について



洋上風力発電施設(デンマーク)



今野英元  
(社会民主党)

洋上風力発電に関する各国の調査票の回答公表

【問】 海外先進地調査事業において、質問事項、意見などを集約し、事前に各国調査地へ送っている。5カ月たった現時点で公表できないのはなぜか。

【答】 今野議員より調査票の情報公開を求められており、外務省を通じて各国調査先へ調査票の公開について伺っているところだ。

回答の目安として、12月6日を期限としており、公開の承諾が得られれば情報提供する。(※市より、12月6日行政情報不開示決定通知書が届いた。)



洋上風力発電施設(デンマーク)

8千〜9千500キロワット級低周波音データの提出

【問】 事業者は本市沖に建設する洋上風力発電に1500キロワットのデータを示している。事業者から8千〜9千500キロワットのデータが提出されたのか伺う。

【答】 このデータは風車メーカーが保有しており、契約した事業者へ提供されるため、現時点ではデータ提出ができないと伺っている。

モノパイル工法の安全性

【問】 日本風力エネルギー学会石原孟会長は、欧州と日本では気象、海象条件(台風、地震、うねり)が異なるので、欧州での事例をそのまま適用することはリスクが大きいとしているが。

【答】 2019年5月、本市で講演した石原孟会長は、技術開発が進み、8千〜9千500キロワットでも欧州では採用されているとしている。

発電設備の安全性については専門機関により認証されるが、地震や津波の調査については計画事業者へ伝えていく。

ストレスなどに対応して補償を示すべきではないか。

【答】 質問のような補償については、市が関与すべき案件ではないと考えている。

【問】 再エネ海域利用法について

【答】 国に対して利用法の周知活動要望していく。市としては、国の施策に協力しその責務を果たしていく。

洋上風力発電海外先進地調査事業報告について

【問】 海外先進地視察、データについては。

【答】 報告会では調査事業で行った様々な意見交換を整理し報告をしてきた。また、調査票の情報公開請求については、外務省を通じて各調査先へ公開の可否について照会中だが、市ホームページなどでの公開予定はない。

洋上風力発電を推進する要因について

【問】 海の景観が変わるが一般的に常識的な景観か。

【答】 懸念や期待の声を国や関係者に伝え、法に定める責務を果たしていく。

風力発電について

【問】 市民への対応について、沿岸住民を中心に健康に関するアンケート調査と説明は。

【答】 風車による因果関係が認められていないので市で健康調査はしない。一般海域の活用は国や事業者によって説明責任が果たされるべきものと考えている。

【問】 建設された場合の長期に影響を受ける沿岸住民の補償について、景観や騒音、心因的

カダーレのネット通信

環境充実について

【問】 携帯の通信が出来ない場所や時間帯でネットが繋がりにくい。5G時代の対応は。

【答】 来年度は5ギガヘルツに対応可能な最新機種に更新予定である。

また、5Gなど情報通信技術の進歩に対応し、他の公共施設の通信環境の向上に努めていく。



阿部十全  
(無所属)





正木修一  
(無所属)

## 農業生産現場の労働力不足への対策は

**問** 生産に必要な労働力を確保できなくなっている。労働力確保に向けた施策と省力化・軽労化・精密化を進めるスマート農業推進の施策を伺う。

**答** J Aの無料職業紹介所の取り組みの紹介を、J Aと連携して市民への周知強化に取り組んでいく。スマート農業は労働力不足への対応、生産性向上につながる有効手段であり、積極的に推進していく。

**豪雨災害に対する備えは**

**問** 想定を超える豪雨への避難対策・避難所の対応手順は整備されているのか。

**答** 最近の災害事情を踏まえ、具体的なマニュアルへの改正を検討していく。

## 再エネ利用ガイドライン見直しは

**問** 陸上風車間の距離や乱立を防ぐ配置の規定、民家からの建設距離などを載せることにより、懸念状況を緩和させることができると考えるが。

**答** 規制を設けることは、財産権の侵害や事業活動の制限につながる恐れがある。国への要望や自主的なガイドラインなどの見直しを検討していく。

## スクールのバス

### 混乗化運行は

**問** 「住民混乗運行」を実施して今後どのように展開していくのか。

**答** また、スポーツ活動での運行路線内の乗車は、保護者の負担軽減となるが考えを伺う。

**答** 児童生徒が減少する中、効率的な運行を図る必要があり、混乗による継続的な住民利用を事業化することは、慎重に判断しなければならないと考える。スポーツ活動は保護者の責任のもと対応いただいているが、バス運行がない地域での移動手段も含め研究していく。



佐々木茂  
(市民創風)

## 農業用ため池災害について

**問** 本市のため池は、県内で最も635カ所であり、そのうち防災重点ため池は289カ所である。この防災重点ため池の管理や整備、防災をどうやっていくのか。

**答** ため池の管理は、土地改良区をはじめ水利組合や個人が管理主体となり実施している。整備は、受益者の同意を得て、国の補助事業「農地防災減災事業」などで計画的に改修整備を進めている。

防災面では、「農業ため池管理保全法」に基づき、県と連携を図りながら、所有者などへ届け出や適正管理を働きかけていくとともに、点検調査や所有者からの異常発見などの相談に応じて、現地の状況を把握して迅速な対応を図っていく。

## 市道新道下藤崎台幹線1号(仮称)の整備について

**問** 路線の測量設計を実施して4年が経過したが、着工の見通しはいつか。また、市道船岡31号線は、路肩に亀裂が発生し、通行に支障を来しているの、拡幅を視野に整備を。

**答** 本路線は、市の総合計画「新創造ビジョン」に登載予定であるが、国ベースの交付金配分が少なく、既着工路線も計画を延伸しており、早期実施は難しいと考えている。なお、市道船岡31号線は、路肩の沈下により通行車両の安全性に支障を来していることから、早期に対策を講じる。



拡幅が要望される市道(通勤ラッシュと大型車輛通行状況)



高橋和子  
(高志会)

## 鳥海ダム周辺整備

**問** 民俗文化保存展示施設は、ダム周辺整備計画とどのように連動させ具体的に進めるのか。

**答** 現地保存調査報告書は今年度末に完成する。国庫補助事業の「水源地域対策特別措置法」に基づく「水源地域整備計画」との整合性を図りながら、調査結果・記録の活用について民俗展示施設整備も含め国と調整する。

**問** 峰越林道手代線の改良について、本計画での位置づけは。また、関係機関、関係地域と調整連携すべきでは。

**答** 酒田市にはダム建設事業を活用した環鳥海山観光推進を呼びかけている。仮称「鳥海ダム周辺エリア活用基本構想」で連携を図り対応を協議する。



## 共有地の固定資産税を分付ごとに納付できるようにすべき

**問** 共有代表者が納税義務者になるが、年数が経過し相続者が多数に及ぶ。また、遠隔地に居住などで負担が生じている。要望のある場合には按分課税し、納税通知書を出している自治体もある。納税者である市民の負担軽減と利便性を図るべきでは。

**答** 納付しやすい環境をさらに整えるよう研究する。

## 平井文庫の保存と活用

**問** 平井文庫(平井信義先生が2153冊の蔵書や図書を寄贈)の活用は。

**答** 鳥海総合支所に地域住民の憩いの場を兼ねた文庫の保存閲覧スペースを設ける。広報紙などで周知を図り広く活用できるようにする。寄附の1千万円は健康福祉部所管の事業に活用している。



佐々木隆一  
(日本共産党)

## 補聴器への助成制度検討の具体化は

**問** 日本では聴覚障がい6級以上など、難聴を障がいのカテゴリーとして助成制度があるが、欧米では医療のカテゴリーとして助成制度を確立している。9月定例会で、補聴器助成は本県国がやることであり関係機関に申し上げていただきたいし、市単独でも検討されたいとの質問に、今後検討すると答弁したがどのように検討されたか。

**答** 「聞こえ方」に個人差があるなど加齢性難聴の基準が不明確であり、また視覚障がいや肢体不自由には加齢による眼鏡や補装具などの市の助成は行っており、公平性の観点からも市単独助成は困難である。今後市としては、基準となる聴カレベルの緩和について市長会などを通じて要望していく。

## 国の病院再編統合から地域医療を守る立場について

**問** 国は全国の公的病院などの再編を検討し、424の病院名を上げ、本県では5病院が上がった。本市は今回上がらなかったが、いずれ国の再編統合があるだろうと見られている。市民の生命、地域医療を守っていただきたい。

**答** 公立、公的病院は、民間医療機関の立地が難しい過疎地や採算が合わない部門などの医療を担っており、国が示す再編統合については、さらなる議論が必要である。市としては、県や各自治体、医師会などの関係機関と連携を密にし、地域の実態に即した医療を提供できるように努めている。







佐藤健司  
(高志会)

自然災害への備えは

ハザードマップの見直しは  
どのような内容か。

**答** 河川の浸水区域については、100年に1度を想定したものであったが、1000年に1度の大雨を想定したものに改正し、来年度に新しいハザードマップを作成し、市内の全世帯に配布する予定としている。

農業振興への取り組みは

もみから処理の対応は。

**答** 市内の「もみから」の排出量は、年間約9千トと試算され、畜産の敷料や農地の暗渠資材として本市で全量利用できると見込んでいる。  
**問** 農協と連携し、耕種農家と畜産農家の需給マッチングに努めるとともに、収集体制の構築などについて情報交換や研究を進めていく。

新たな工業団地造成は

新たな工業団地造成の計画は。

**答** 県では今年度、本荘工業団地の北側エリアにおいて地形測量と地質調査を行っている。今後、本格的な事業計画が策定されることを期待している。  
**問** また渋滞対策として、本荘インターチェンジ交差点から工業団地へ直接つなぐバイパス整備を県知事へ要望している。



本荘工業団地全景

道路整備への対応は

市道鶴沼薬師堂線整備計画は。

**答** 市道鶴沼薬師堂線の千刈から薬師堂までの未整備区間については、今年度交通量調査と概略設計を行っている。  
**問** 今後、概略設計では、ルートの選定や幅員構成などを検討し、早期の事業着手・完成を目指していく。



高橋信雄  
(高志会)

ゾーニングなどの施設の制限を考えているか

陸上風力発電のゾーニングは可能か。

**答** 土地所有者、地域住民、事業者がそれぞれ権利を有する中、利害の対立など関係者の混乱にもつながりかねない懸念があり、ゾーニングは慎重な判断が必要で、現在取り組む予定はないが、にかほ市などの策定状況を注視し、検討したい。

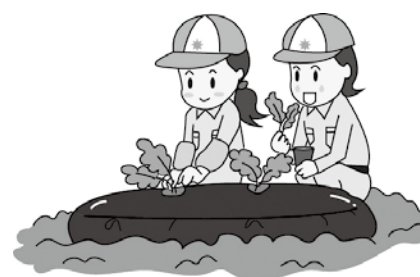
風力発電による健康被害による

健康被害の声に

対しての認識は

**問** 健康被害を訴える市民への対応は。

**答** 環境省指針において、風力発電施設から発生する音が、人の健康に直接影響を及ぼす可能性は低いこと、超低周波音、低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できないとされる現状を



踏まえ、事業者への法的手続きは考えていない。

地域農業には家族農業の育成と支援が大切

地域農業の担い手としての家族農業について。

**答** 2年ほど前から家族経営体などの多様な担い手を、確保育成する支援へシフトしてきた。地域農業には大規模経営体だけでなく、中小規模の家族経営体などの多様な担い手が重要であると認識しており、再生産可能な農業を実現し、次世代へ経営継承できるよう、求められる経営力強化に、支援、サポートを行う。

議会日誌

(11/1~1/15)

11月	3日	議会運営委員会 会派代表者会議 千葉県八千代市議会行政視察来訪
	7日	臨時会
	12日	議会報編集特別委員会
	14日	長野県飯田市議会行政視察来訪
	19日	会派代表者会議
	22日	議会運営委員会
	29日	会派代表者会議 本会議 (開会)
12月	5日	本会議 (一般質問) 議員政治倫理審査会
	6日	本会議 (一般質問)
	9日	議会運営委員会 本会議 (一般質問) 議会全員協議会 令和2年度予算に対する各会派提言委員会 (議案審査) ~11日
	10日	会派代表者会議
	16日	議会運営委員会
	17日	本会議 (最終日) 議会全員協議会 議会報編集特別委員会 議会報編集特別委員会 議会運営委員会
1月	10日	議会運営委員会 議会報編集特別委員会
	15日	臨時会

議長公務(主なもの)

11月	1日	東北市議会議長会理事会(仙台市)
	13日	各期成同盟会等要望活動 ~15日(仙台市・東京都)
	25日	秋田県市議会議長会臨時会(秋田市)
	27日	由利本荘市老人クラブ大会
12月	3日	民生委員・児童委員委嘱辞令伝達式並びに退任感謝状贈呈式
	13日	鳥海高原矢島スキー場開き
	16日	青少年タイ王国友好交流訪問団結団式
1月	5日	消防出初式
	6日	新春商工パーティー
	12日	成人式

議長交際費

	11月	12月
慶祝、協賛など	29,188円 (7件)	18,000円 (3件)
弔 事	30,000円 (2件)	30,000円 (2件)

議長公務・交際費の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。

市議会からのお願い

市議会では、飲食を伴う会合には案内状に会費の額を明記していただくように申し合わせております。  
皆さまのご理解とご協力をお願いします。



議会を見よう!知ろう!

▶ 次の定例会は2/17~3/18 ◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

議会を傍聴! ライブで!

事前の申込みは必要ありません。当日、直接傍聴席(市役所本庁舎5階)へおいでください。

ケーブルテレビで生中継

本会議の様子を生中継でご覧になれます。

会議録で読む

議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、由利本荘市ホームページから見るることができます。

市議会カレンダー

● 3月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
2/2	3	2月7日(金) 正午までに受理する 請願・陳情を審議 する予定です		6	7	8
16	17	18	19	20	21	22
	本会議 (開会)					
23	24	25	26	27	28	29
3/1	2	3	4	5	6	7
			本会議 (会派代表質問 一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	常任 委員会	常任 委員会	常任 委員会			
15	16	17	18	19	20	21
			本会議 (閉会)			
22	23	24	25	26	27	28

議会の予定は変更になる場合があります。  
詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)